

令和4年度第2回岡崎市民病院地域医療支援委員会 会議録 (※新型コロナウイルス感染症対策として書面会議で開催)	
開催日時	令和4年8月15日(月) ※書面表決日
開催場所	—
委員	(出席者) 13名 田那村収、升川浩子、市川博文、高村俊史、鈴木正博、片岡博喜、金澤一徳、 築山高彦、永田昌子、石川紀世美、小林靖、伊奈秀樹、山田健志 (欠席者) 0名
事務局	—
会議次第	議題1 令和3年度地域医療支援病院業務実績について 議題2 その他
傍聴者	—
議事要旨	<p>(事務局) 令和4年度第2回委員会について、令和4年7月28日に集会しての開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、急遽書面による会議に変更して行うこととなった。委員には令和4年8月2日付で書面表決書を8月15日までに回答するように依頼し、委員全員から回答を頂いた。</p> <p>議題1 令和3年度地域医療支援病院業務実績について (事務局) 令和3年度地域医療支援病院業務実績について、事務局の分析結果と併せて報告する。</p> <p>(委員A) 紹介率が80%近いということは、地域医療支援病院の最も高いハードルを超えそうということであり、病院としての機能は十分満たしていると考えられます。 今後は、診療所数が多いAエリアの紹介数を維持しつつ、Cエリアの紹介数増加が鍵となるのではないのでしょうか。診療所の患者数に比較して市民病院への紹介数が著しく低いと思われる診療所には、個別の事情を掬い取る必要があるのではないかと思います。 救急と紹介患者の入院率で病床稼働率はおおよそ決まってくるので、病院経営の観点から考えると入院患者増を達成する方策について、院内のすべての関係者でしっかり議論してはどうでしょうか。</p> <p>(事務局) 藤田医科大学岡崎医療センター開院前の想定よりも当院への紹介患者総数は減っていませんが、さらなる患者獲得を目指す必要性は認識しております。そのために地域の医療機関には個別に訪問させていただいています。そこでは患者紹介に関しては病院の一般的な評判以外にも、近い・遠いという地理的な要素、施設が新しい・古いなどという要素が加わることを聞き取ってい</p>

ます。また患者紹介には医師のみではなく患者さん側の意向もあるので一般市民向けの広報にも現在力を入れているところです。

病床稼働率は延べ入院患者数で規定されます。延べ入院患者数は「入院患者実数×在院日数」ですので、以前に比べ当院の病床稼働率が振るわないのは、当院の在院日数がかなり短縮していることに起因しています。

現在の国の医療政策では、在院日数の短縮を強く意識していますので、今後も当院の在院日数は短くなっていくと予想しています。このため入院患者実数×在院日数である延べ入院患者数は、今後も減少していくと思われるので、当院の現在の病床数はやや過剰であると認識しております。

一方、COVID-19 診療では病床がやや過剰であったので、COVID-19 患者の受け入れが比較的スムーズであったことも事実であり、適正病床数がどの程度であるかは難しいところではあります。

救急外来については、患者数及び救急搬送件数とも藤田医科大学岡崎医療センター開院前のほぼ想定通りの数値であると思います。当院の救急外来の現在の課題の一つは、救急搬送患者の入院率が約 40%と一般的な救急病院並みにとどまっていることです。3 次救急病院であれば、救急搬送患者の入院率については 45%程度は欲しいところではありますので、数値向上を目指していきます。

病院経営の視点からは、しかるべき時期に適切なダウンサイジングを行い、効率的な人員配置により在院日数を短縮するとともに、入院患者の受け入れを増やし、収益の確保と支出の抑制を図ることが必要であると考えています。

(委員 B)

「岡崎市民病院 5 km 圏内 (A エリア) の患者さんでも藤田医科大学岡崎医療センターに搬送されるケースが多いと、ケアマネージャーや地域包括支援センター、家族などから聞く事があります。

岡崎市民病院の受入れキャパを上回っているのですか？又は他の理由ですか。近くの岡崎市民病院を希望しましたが、藤田医科大学岡崎医療センターに搬送となったという話も聞きます。」

(事務局)

かかりつけが藤田医科大学岡崎医療センターであることと、重症度つまり一次・二次相当という事が主な要因となります。当院のキャパオーバーということではありません。

西三河南部東医療圏保健医療計画に今後の方策として、第 3 次救急医療機関への軽症患者の集中を防ぐために、当医療圏では県・市町・岡崎市医師会、主要病院、その他の関係機関が連携し、地域の救急医療事情に即した救急医療体制を検討していくこと、軽症患者がまずは第 1 次救急医療機関を受診するよう、地域住民への啓発をすることが明記されています。

※書面表決の結果

委員からのご意見ご質問の対し、事務局から回答し、委員全員から「議題 1 令和 3 年度地域医療支援病院業務実績について承認します。」と回答をいただいた。

議題 2 その他

(事務局)

委員からは他に意見はなく、議案審議は全て終了した。

・岡崎市民病院へのご意見・ご要望について

(委員 C)

病院広報誌「つながる」を読み、これからの市民病院のあるべき姿がよくわかった。また、院長特集もとても良かった。

(事務局)

他に岡崎市民病院への意見、要望はなく、以上をもって会議終了とする。